

とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

センター職員の異動

2009 春号
NO.44



後は宜しくね♪

佐々木

水崎 進介

レンジャー（自然保護官）



前任地は釧路で、知床世界遺産に関わる仕事をしていました。釧路も対馬も非常に特徴的な自然が残っている地域ですので、対馬への異動は非常に幸せです。ヤマネコについては、単に絶滅しそうだから守るというのではなく、ヤマネコも対馬の一員だから守るという考え方で地域の方々と一緒に保護を進めていければと思っています。

杉山 遥 事務補佐員

対馬のことは何も知らずにきたのですが、美しい自然環境とツシマヤマネコなどの珍しい野生動植物がいるこの対馬は、私にとって新鮮なことばかりで毎日が発見の連続です。これからはもっと対馬について学んでいくとともに、対馬の自然の素晴らしさをより身近に感じていただけるお手伝いのできたらいいなと思っています。

がんばってね



上山



ファイトだ!

前田

原口 墨華

アクティブ・レンジャー（自然保護官補佐）

ヤマネコセンターの職員として仲間入りしました！まだまだわからない事ばかりですが、もっと対馬のこと、そしてツシマヤマネコのことを知っていきたくと思っています。これから、ヤマネコの交通事故対策などを行なっていく予定ですので、見かけたら気軽に声をかけてください。



ツシマヤマネコ
ツシマヤマネコは、日本では
かつて、東北アジアから中
ムヤマネコの亜種とされて
いた。現在は、対馬の
対馬市上県町や深津正
ヒメスミなど森林地の
対馬産産に広く分布してい
る。体長は、

体長 80-90cm
尾長 21-25cm
体重 3-5kg

やまねこ News

野生に帰した ヤマネコのその後!?



保護された直後の様子

前回のとらやまの森No.四十三号で上県町佐護の民家倉庫で保護されたヤマネコの野生復帰をお伝えしました。その後、どこに移動するのか見守っていましたが、三月、そして、四月にもセンター付近で目撃され、元気で頑張っている様子です。

野生復帰させたのが二月十二日でしたので、もう二ヶ月以上経過しているところを見ると、きちんと獲物を捕獲できているのでしょうか。今度いつ出会えるか解りませんが、立派なヤマネコに成長して欲しいですね。

ツシマヤマネコの学名表記が変わりました!

ツシマヤマネコの学名はこれまで*Prionailurus bengalensis euptilura*を使ってきましたが、これからは*Prionailurus bengalensis euptilurus*と表記します。

<なぜ表記が変わったの?>

ツシマヤマネコの学名は以前*Felis bengalensis euptilura*を使っていましたが、近年の研究の結果、属名は*Felis*でなく、*Prionailurus*を用いるようになっていました。その際に、属名の変更に伴って亜種名も*euptilura*から*euptilurus*と変更させる必要があったのです。

<ラテン語のルール>

学名の語源であるラテン語の文法では、名詞を「男性」「女性」「中性」に分けるルールがあります。また、修飾語は修飾する名詞の「性」に応じて語尾を変化させなければなりません。ツシマヤマネコの学名の場合、*Prionailurus*は「男性」名詞ですので、修飾語である亜種名は*euptilurus*と表示します。

男性名詞→-us, -is 女性名詞→-a, -is 中性名詞→-um, -em



Prionailurus bengalensis euptilurus

職員日誌⑤ 『春は楽しいな〜♪』

「春はあけぼの…」と清少納言が伝えているとおり、対馬の春も日の出前からいいですね。と言いますのも、対馬では野鳥の一大イベント“春の渡り”が始まるからです。特に4月下旬から5月にかけてはツマノヅコなどのホオヅコ類や、全国のバーダーに大人気のヤマショウビンも現れます。また、他の地域では見られないような珍鳥に出会えるチャンスでもあります。これは、今日もまた眠れない日々が続きますね〜♪

飼育員：川口
(出身地：対馬市)



動物の写真を撮るのが趣味です。ヤマネコの飼育をはじめたのは9年！ヤマネコのことなら何でも聞いて〜



シマノジコ



キビタキ



ヤマショウビン

第2回ヤマネコ・クイズ!の回答

●ツシマヤマネコが一度に産む赤ちゃんの数は何頭ですか? (A.1~3頭)



対馬の環 News



「舟志の森」での ネズミ調査結果☆

昨年五月から開始した舟志の森モニタリング調査では、ヤマネコに優しい森づくりを進めている舟志の森を調査地として、人工林を間伐することによりヤマネコの餌動物であるネズミ類の生息状況がどのように変化するのかを調べています。二〇〇八年五月から二〇〇九年三月まで二ヶ月に一度、間伐前の人工林でネズミ類の生息状況を調査しました。その結果、ヒメネズミが最も多く五十三回、次いでアカネズミが十八回、ヒミズが十回捕獲されました。また、最も捕獲回数が多かったのは二〇〇九年三月で、全体の約半数はこの時期に捕獲されました。ヒメネズミとアカネズミは秋〜春にかけて繁殖しているようです。

二〇〇九年三月の調査終了後には人工林の間伐が実施され、これからの一年間は間伐後のネズミ類の生息状況を調査していきます。人工林の間伐はネズミ類の生息状況にどのような影響を与えるのでしょうか…？



対馬の自然を守ろう♪

田んぼはお米を生産する場だけでなく、田んぼを利用するカエルやネズミなど多くの生きものを育んでいます。そのため、その生きものを餌とするヤマネコにとっても重要な場所となっています。

そこで、ヤマネコの重要な生息地である上県町佐護では、対馬の環境を維持・改善していくために、環境に配慮したお米作りをしようと、農家や対馬市、農業改良普及センターなどの協力を得ながら、試験田を設置することになりました。

今年には四枚の田んぼで無農薬または減農薬に取組み、生きものにはどの程度の効果があるのか？作業の手間はどのくらいかかるのか？などを検証していきます。

早速一枚目の田んぼの田植えを手伝いに行きました。機械では植えられない田んぼの四隅の手植えをただけでしたが、田んぼに興味と愛着がとて湧きました。いい結果がでることを楽しみに、協力していただけの方々と頑張ってきたと思います。



Ag・レンジャー
山本かゆく

オ4回 対馬の守人

家具製作所

Kiipro

阿比留恭二さん・優子さんご夫妻

「Kiipro」の意味は「黄色と木色」。対馬で生まれ育った阿比留恭二さんが、福岡での修行を終え2008年に対馬で開業した家具製作所です。主に恭二さんが家具、優子さんは小物を担当しています。

家具づくりの材料には主に対馬ひのきの間伐材を使用。対馬の面積の約15%を占める人工林は、間伐などの手入れをしなければ木材の質が落ち、生き物のすみにくい真っ暗な森になってしまいます。昨年度は、対馬ひのきの肌触りの温かさや表情豊かな木目を生かした作品が評価され、「間伐・間伐材利用コンクール」の「暮らしに役立つ間伐材利用部門」で林野庁長官賞を受賞しました。

Kiiproは家具の製作を通して対馬の森林を守っています。



センター用語

● Ag (アクティング)・レンジャー・・・自然保護専門員。主にヤマネコの検査や治療を行う獣医師。

センター News

イベント報告&情報

春の植物観察会 in 千俵蒔山

4月5日(日)、千俵蒔山を上りながらきれいな花々を対馬の自然と生き物の会会長の國分英俊氏の解説のもと観察しました。

当日は天候にも恵まれ、とても楽しい観察会になりました。



2009年度 上半期 イベント予定

① 5月17日(日) 『どんな鳥がいるだろう?』

時間：9:30～12:00 場所：上県町佐護バードウォッチング公園
公園の周りを歩きながら鳥を探して観察してみよう！（初級編）

② 6月14日(日) 『あじさい祭り de クイズラリー』

時間：10:00～15:00(随時) 場所：上県町佐護湊シーランド
ヤマネコについてのクイズに答えて賞品をゲットしよう！

③ 7月12日(日) 『草木染め』

時間：13:00～15:00 場所：厳原町対馬市交流センター3階調理室
身近にある草や木でオリジナルの染物を作ってみよう！

④ 8月9日(日) 『ヤマネコ博士学校』

時間：13:00～15:00 場所：対馬野生生物保護センター
ヤマネコの調査方法を体験し、君もヤマネコ博士だ！

⑤ 9月20日(日) 『ネズミの骨ってどんなだろ?』

時間：13:00～15:00 場所：対馬野生生物保護センター
ヤマネコの餌になっているネズミ。その骨格標本を作ってみたくないかい？



みんなの参加を楽しみに待ってるよ～♪

※①③④⑤のイベントの参加には予約が必要です。
申込み・お問合せは担当：大谷(おおや)まで。

編集後記

山の緑が美しく、過ごしやすい季節になってきました。新年度がはじまって1ヶ月がたち、新しい生活にも慣れてきたことでしょう♪2009年度もヤマネコセンターを宜しくお願いします。



今日の一枚
『ヒトツバタゴ』
五月になると上対馬を中心に、集落一帯を白い花で彩るヒトツバタゴは、対馬の名花でもあります。
別名「なんじやもじや」と呼ばれ親しまれています。
今年、昨年に比べ花の開花が早かったみたいです。

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

とらやまの森

No 44

2009

春号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。